

第1号議案 平成22年度 事業報告および収支決算報告

平成 22 年度事業報告

1. 関連団体との交流に関する事業

社)日本臨床工学技士会、中部臨床工学技士会連絡協議会など関連団体との情報交換、連携強化に努めた。

1) 5月21日(金)第4回全国臨床工学技士会代表者意見交換会(横浜市内)

野倉会長、野々村事務局長が出席。

Yボード委員会より「仕事と家庭の両立」に関する報告があり、日臨工会員のうち24%を占める女性会員にとって、現在の雇用環境は決して望ましいものではないとの意見が多く、特に未婚女性技士の約4割が「両立が困難な職場」と感じている。今後は他の医療職種及び団体における男女共同参画の活動を調査し、日臨工の活動方針を検討していく。執行部からは日臨工の会員資格に関する説明があり、新定款では「都道府県を区域とする臨床工学技士会に所属かつ本会に入会した個人」という文言に変更し、地方技士会に入っていないと会員にはなれない旨が明記されたと報告。公益社団法人化にむけ代議員制度導入に関する説明が行われた。

2) 5月23日(日)社)日本臨床工学技士会総会(パシフィコ横浜)

野倉会長、野々村事務局長が出席。

一昨日の意見交換会での報告事項に関する質問が多く、代議員選出に関しては全国区、地方区ともに日臨工で選挙を行い、総会は選出された代議員をもって構成すると説明。

3) 6月6日(日)第6回NPO法人岐阜県腎臓病協議会大会(岐阜市)

野倉会長出席。当会の総会と会場、時間が重なり短時間の出席となる。

4) 11月13日(土)第33回中部臨床工学技士会連絡協議会会議(福井県・芦原町)

14日(日)第11回中部臨床工学技士会連絡協議会学術大会

協議会には野倉会長、大前享子氏が出席。Yボード連絡員会議に武安理事が出席。

川崎日臨工会長、林理事、出口組織委員長も出席され、日臨工代議員選挙に関して、是非中部の会員から多くの代議員を選出し、地方の声を全国に反映させたいとの意見が多く、中部7県で選挙協力を行っていくことを決議する。

5) 3月12日(土)第34回中部臨床工学技士会連絡協議会会議(名古屋市)

野倉会長、伊藤副会長、野々村事務局長が出席。

第12回中部臨床工学技士会学術大会開催要項が承認され、平成23年10月22日(土)・23日(日)岐阜県開催が決定。

6) 3月13日(日)岐阜県医療推進協議会岐阜県決起集会出席(岐阜県医師会館)

野倉会長、飯沼監事出席。

2. 学術技能の研鑽及び資質の向上に関する事業

1) 6月6日(日)

ランチョンセミナー(長良川国際会議場)

「腎性貧血とESA製剤～良好なHbの管理を目指して～」

中外製薬名古屋支店医薬情報管理室 伊藤 正幸 先生

市民公開講座

「究極の脳卒中予防法とは？」

岐阜大学大学院医学系研究科

脳神経外科学准教授・臨床教授 吉村 紳一 先生

2) 8月29日(日)GACET 教育セミナー2010

循環器セミナー(岐阜県総合医療センター管理棟3階)

これだけは知っておきたい「IABP」

嚙生会脳神経外科病院 岩尾 昌之 先生

初心者のためのハンズオンセミナー-IABP 編

USCI ジャパン株式会社 橋詰 健一 先生

これだけは知っておきたい「PCPS」

岐阜大学附属病院 柚原 利至 先生

初心者のためのハンズオンセミナー-PCPS 編

テルモ株式会社 阿部 修一 先生

3) 9月12日(日)

岐阜県臨床工学技士会第3回学術大会(長良川国際会議場)

パネルディスカッション(Next-G)

「どうしてる?となりの透析室～透析開始・返血操作編～」

ランチョンセミナー

「身体組成分析装置(MLT-50)の概要」

東レ・メディカル株式会社

「透析医療現場における身体組成分析装置 MLT-50 の使用の実際」

光寿会リハビリテーション病院技士長 柴田 昌典 先生

一般演題 9 演題

4) 1月30日(日)GACET 教育セミナー2010

血液浄化療法セミナー(岐阜県総合医療センター管理棟3階)

メーカーレクチャー

ダイアライザーメーカー各社より講義

ランチョンセミナー

「カーボスター透析液を使って分かってきたこと」

メディカルサテライト岩倉 長尾 尋智 先生

パネルディスカッション

「どうしてる?となりの透析室～ダイアライザー選択編」

- 5) 2月20日(日)
 GACET 教育セミナー2010
 呼吸療法セミナー(岐阜県総合医療センター管理棟3階)
 「胸部レントゲン写真の読み方の基礎」
 下呂市立金山病院 臨床工学科 熊崎 公彦 先生
 ランチョンセミナー
 「次世代の人工呼吸器」
 日本光電工業 人工呼吸器グループ 尾濱 浩一 先生
 「エビデンスから学ぼう!! 吸引手技」
 愛知医科大学病院 看護部 小林 美和 先生
 「吸引手技の実技講習」
- 6) 3月6日(日)
 パルスオキシメーター技術講習会(澤田病院管理棟3階会議室)
 コヴィディエンジャパンによる講習会

3. 組織力強化に関する事業

- Next-G を中心に、若手技士へのセミナーなどの事業への参加をよびかけ Next-G メンバーへの登録をお願いした。
- Next-G のなかに女子部会を発足させ、女性会員への事業参加を促した。
- 11月21日(日)東海医療科学専門学校の文化祭にポスター形式で参加し、学生へ技士会活動をアピールした。

4. 会報発行に関する事業

- 会報第38号、第39号、第40号を発行。
- 第40号より印刷を業者委託し、内容の充実にも努めた。

5. その他の事業

- 理事会の開催
 4月13日(火)11名出席、
 6月1日(火)12名出席、
 8月10日(火)9名出席、
 10月9日(土)11名出席、
 12月11日(土)10名出席、
 2月5日(土)8名出席、

以上6回開催。

- Next-G 会議5回開催、
- 教育委員会会議4回開催

平成22年度 収支決算報告

自 平成22年 4月 1日
至 平成23年 3月31日

収入の部

科目	22年度 予算額	22年度 決算額	差異	備考
入会金収入	(30,000)	(72,000)	(▲ 42,000)	
入会金収入	30,000	72,000	▲ 42,000	
会費収入	(1,150,000)	(1,009,588)	(140,412)	
正会員会費収入	750,000	689,588	60,412	
賛助会員会費収入	400,000	320,000	80,000	
雑収入		(242,552)	(▲ 242,552)	学術大会展示料、セミナー、利息等
当期収入合計 (A)	1,180,000	1,324,140	▲ 144,140	
前年度繰越収支差額	928,341	928,341	0	
収入合計 (B)	2,108,341	2,252,481	▲ 144,140	

支出の部

科目	22年度 予算額	22年度 決算額	差異	備考
事業費	(1,580,000)	(1,081,250)	(498,750)	
会議費	(700,000)	(282,980)	(417,020)	
総会費	400,000	173,980	226,020	
理事会費	150,000	87,000	63,000	
諸会議費	150,000	22,000	128,000	
一般事業費	(880,000)	(798,270)	(81,730)	
学術大会・セミナー費	400,000	354,365	45,635	
出張費	300,000	300,540	▲ 540	
渉外費	30,000	600	29,400	駐車場等
IT費	50,000	16,345	33,655	
広報・交流会費	100,000	126,420	▲ 26,420	
事務費	(300,000)	(231,507)	68,493	
消耗品費	200,000	116,147	83,853	
通信費	100,000	115,360	▲ 15,360	
予備費	(128,341)	35,100	93,241	税金(事務手数料含む)
当期支出合計 (C)	2,008,341	1,347,857	660,484	
当期支出差額 (A)-(C)	▲ 828,341	▲ 23,717	▲ 804,624	
次期繰越収支差額 (B)-(C)	100,000	904,624	▲ 804,624	

財産目録

科目	金額
普通預金 十六銀行 野一色支店	462,119
通常郵便貯金 名古屋 貯金事務センター	282,100
現金	160,405
正味財産	904,624

貸借対照表(平成23年 3月31日現在)

一般会計(単位:円)

科 目	金 額		
資産の部			
流動資産			
現金預金	904,624		
流動資産の合計		904,624	
固定資産			
固定資産の合計		0	
資産合計			904,624
負債の部			
流動負債			
未払金			
負債の部合計			0
正味財産の部			
正味財産合計			904,624
負債及び正味財産合計			904,624

平成22年度監査報告


監査報告書


一般社団法人 岐阜県臨床工学技士会
会長 野倉 正敏


一般社団法人岐阜県臨床工学技士会の平成22年4月1日から平成23年3月31日までの理事の業務執行状況、事業執行状況および財産・会計状況の監査を行った結果、すべて正しく執行されていたことを証明いたします。

平成23年4月16日

一般社団法人 岐阜県臨床工学技士会

監事 中原 富美夫 

監事 飯沼 伸司 

監事 服部 尚 樹 

第2号議案 平成23年度事業計画案

平成 23 年度事業計画案

施策方針

一般社団法人として、地域医療や社会福祉に貢献できる組織となり、岐阜県内の臨床工学技士が連携を取れる体制作りを推し進める。

1. 関連団体との交流に関する事業

- ・ 社) 日本臨床工学技士会、中部臨床工学技士会連絡協議会など他団体との連携強化に努める。
 - 1) 平成 23 年 5 月 20 日 (金) 第 6 回全国臨床工学技士会代表者意見交換会 (大分)
 - 2) 平成 23 年 5 月 21 日 (土) 第 21 回日本臨床工学会 (大分)
5 月 22 日 (日) 第 21 回日本臨床工学会、社) 日本臨床工学技士会総会
 - 3) 平成 23 年 10 月 22 日 (土) 第 35 回中部臨床工学技士会連絡協議会会議
第 12 回中部臨床工学技士会学術大会 (岐阜県)
10 月 23 日 (日) 第 12 回中部臨床工学技士会学術大会
本年は岐阜県が主催となります。
 - 4) 平成 24 年 3 月 第 36 回中部臨床工学技士会連絡協議会会議 (名古屋)

2. 学術技能の研鑽及び資質の向上に関する事業

- ・ 新しい臨床工学技士業務指針に対応するための情報提供や、新人教育にも対応した勉強会、セミナーを開催する。
 - 1) 平成 23 年 5 月 15 日 (日) GACET 教育セミナー
ランチョンセミナー「新 Ca 濃度透析液」
扶桑薬品工業株式会社
市民公開講座「ASO とフットケア」
名古屋共立病院循環器センター 熊田 佳孝 先生
 - 2) 平成 23 年 7 月 GACET 教育セミナー
ME 機器関連セミナー予定
 - 3) 平成 23 年 9 月 3 日 (土) 初級心電図講習会
平手 裕一 先生
 - 4) 期日未定 GACET 教育セミナー (血液浄化、呼吸器、循環器を予定)

3. 組織力強化に関する事業

- ・ 東日本大震災の教訓として、非常時に頼りになるのは日頃からの地域との連携や、近隣県との緊密なつながりの大切さだと痛感させられた。県内臨床工学技士の連携強化のため、Next-Gの活動を中心に若手からベテランまで、日頃気楽に連絡しあえる関係づくり、仲間づくりに役立つ事業を進める。

4. 会報発行に関する事業

- ・ 広報委員会により定期的に発行する。
- ・ 印刷を業者に委託し、内容の充実により一層つとめる。

5. その他の事業

- ・ 平成23年度一般社団法人岐阜県臨床工学技士会社員総会の開催
平成23年5月15日（日）長良川国際会議場5階国際会議室
- ・ 平成23年度定例理事会の開催
平成23年4月16日（土）澤田病院管理棟3階会議室
以降年間4回開催予定
- ・ Next-G、教育委員会などの会議を開催

第3号議案 平成23年度収支予算案承認の件

自 平成23年4月1日
至 平成24年3月31日

収入の部

科目	23年度 予算額	前年度 予算額	差異	備考
入会金収入	(30,000)	(30,000)	(0)	
入会金収入	30,000	30,000	0	
会費収入	(1,100,000)	(1,150,000)	(▲ 50,000)	
正会員会費収入	700,000	750,000	▲ 50,000	
賛助会員会費収入	400,000	400,000	0	
雑収入				
当期収入合計 (A)	1,130,000	1,180,000	▲ 50,000	
前年度繰越収支差額	904,624	928,341		
収入合計 (B)	2,034,624	2,108,341	▲ 73,717	

支出の部

科目	23年度 予算額	前年度 予算額	差異	備考
事業費	(1,660,000)	(1,580,000)	(80,000)	
会議費	(700,000)	(700,000)	(0)	
総会費	400,000	400,000	0	
理事会費	150,000	150,000	0	
諸会議費	150,000	150,000	0	
一般事業費	(960,000)	(880,000)	(80,000)	
学術大会・セミナー費	550,000	400,000	150,000	中部臨床工学技士協議会学術大会含む
出張費	300,000	300,000	0	
渉外費	30,000	30,000	0	
I T 費	30,000	50,000	▲ 20,000	
広報・交流会費	50,000	100,000	▲ 50,000	
事務費	(300,000)	(300,000)	(0)	
消耗品費	200,000	200,000	0	
通信費	100,000	100,000	0	
税金	(74,624)	(0)		
予備費	(0)	(128,341)	(▲ 128,341)	
当期支出合計 (C)	2,034,624	2,008,341	26,283	
当期支出差額 (A)－(C)	▲ 904,624	▲ 828,341	▲ 76,283	
次期繰越収支差額 (B)－(C)	0	100,000	▲ 100,000	